

## 補足事項

分類	項目	説明
ドメインの移管	「osaka-pass.jp」のドメイン(現所有者はトーテックアメニティ株式会社)の移管の可否	[osaka-pass.jp] [tva-osaka-pass.jp] について、いずれも「指定事業者変更手続」を実施いただければ移管可能です。 参考ページ:指定事業者変更 <a href="https://jprs.jp/about/dom-rule/agent-change/index.html">https://jprs.jp/about/dom-rule/agent-change/index.html</a>
移管データの連携方法	移行元データの授受方法の想定	本システムで扱うデータは基本データベースにて管理しています。画像ファイル等のCMS管理外の電子ファイルは物理ファイルで管理しています。したがって、データ授受手法はデータベースのダンプファイルと物理ファイルを圧縮しまとめた物を提供させて頂く想定です。
SSLレベル	証明証通信のレベルに指定	DV (ドメイン認証)となります。
メール運用	osaka-pass.jpのドメインを使用したメール運用	システム実装(SMTP)とPOPサービスも稼働(ドメイン宛に送付されたメールを確認するため)
	メールの送受信量 □送信件数/日 □受信件数/日	2026年2月分集計 送信件数 4,326通(日平均約155通) 受信件数 230通(日平均約8通)
RichFlyer(プッシュ通知)のライセンスやプラン	RichFlyerのライセンス帰属先や契約プラン	ライセンス形態ではなくサービス利用になります。規約については株式会社インフォニティのサービス利用規約に準じます。契約プランについては有料お手軽プランによる従量課金サービスです。 <a href="https://richflyer.net/rules.html">https://richflyer.net/rules.html</a>
Googleアカウントの譲渡	マイグレ前の測定結果を引き継ぎ	本サービスで使用しているgoogleアカウントは譲渡予定です。
PowerCMSライセンス	PowerCMSのライセンスの帰属先	ライセンスのエンドユーザーは現サーバー保守管理業者に帰属しています。ライセンスメリットとして、購入後1年間質疑サポートが有効となりますがサポート先を現サーバー保守管理業者から移管することが可能です。またサポートが切れた際も、新たにサポートライセンスをご契約いただくことも可能です。
PowerCMS契約プラン	現在のPowerCMSの契約	通常版スタンダードです。
GoogleAnalyticsレポート	レポートの項目	【参考5】のとおり
サーバ	現サーバーの所有者	サーバの所有は、リンク社ベアメタルクラウドのサービスを活用しているため、大阪府ではなくリンクになります。(ホスティングサービスになります。)
	仮に、サーバーは引っ越しせず現在のまま運用し、管理運用を他社に委託の可否	手続等について移管先の責任で実施していただけるなら可能と考えます。
	現在の障害対応(サービス停止から8時間以内に復旧、又は代替手段を用意しサービスの利用に支障がないようにすること。)	・現在の障害復旧対応定義 データセンター(クラウドサービス)の障害監視サービスを用いて障害復旧が行える様構築しております。 ・復旧対応内容詳細 システムが必要とするサービスの応答障害が発生した場合、サービス再起動等を行い惨事に対する復旧対応を行う体制及び手順を設けております。 手法については手動復旧とさせて頂いております。 また、6時間以内での復旧が行える様設計させて頂いております。
	不正侵入、障害を検出した場合の大阪府への報告に係る現在の運用	障害発生時はリンク社データセンターより連絡を頂き、確認対応を行い大阪府へご報告する流れとしています。
	24/365の正常状態の維持は人的対応ではなくシステム対応	現在はデータセンターにおいて監視ツール等により監視を行っております。障害発生においては、障害の程度により人的対応が必要になります。
	現在稼働中のシステムにおいて監視ツール	Mackerel(マカレル)により、死活監視、サービス監視等を24時間監視で行っております。
	「障害への対応については、予防、発生時の処理手順、再発防止のための方策などについて障害管理設計」	障害発生時の対応手順を作成しております。
	復旧手順書	復旧手順を用意しリンク社と共有しております。

補足事項

分類	項目	説明
運用	機器の冗長化	障害発生内容にもよりますが、運用中のホストが起動困難の場合は周期的に取得しているイメージバックアップを用いてホストリストアを行いシステム再稼働ができる様準備しております。障害発生は死活監視等で確認できるようになっており、障害発生時の対応が迅速にできるよう仕組みとしてあります。
	アップデート	バージョンアップについては、テスト系での確認→本番環境への適用を想定しております。確認時にCMS、API等への影響を判断し、必要に応じて改修を行います。
	システム改修やサイト更新等作業が発生した際の本番環境を更新する前のステージング環境	テスト環境はあります。
	デザイン仕様書について 1.CMSでテンプレート化している部分とCMS側から入力している部分の切り分けがわかるような資料 2.共通使用パーツがわかるような資料 3.ブレイクポイント 4.対応ブラウザ、対応OS	1.および2.テンプレート種別の一覧表 3.ブレイクポイントは、フレームワーク(ブートストラップ)を参考に設定 4.対応ブラウザ・OSは、最新としています。
	文字データが残ったpsd、aiなどの編集可能な画像素材の引き渡し	サイトデザインの作成にai,PSDは未使用です。パナーは、aiやPSDで作成しておりますので提供可能 ただ、文字データは全てアウトライン化済みです。
	CMSの操作方法、運用上の質疑などに対応できるマニュアル	CMSは操作マニュアルがあります。 運用上は、事務局側のトークスクリプト集がマニュアルとして該当します。

引継ぎ資料(予定)

分類	資料名	
WEBサイト	デザインガイドライン	
WEBサイト	コーディングガイドライン	
WEBサイト	リリース方法の手順書	
WEBサイト	CMSのマニュアル・仕様書	
WEBサイト	画面仕様書/フォーム仕様書	
インフラ	インフラ設計書	
インフラ	操作手順書(ホストへのログイン等)	
インフラ	復旧手順書	